

科目名	人間文化演習〔日本理解専攻〕			科目コード	31010	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	羽田 利久		教員コード	155	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	前期は論文執筆にあたり、基本的なルールや先行研究の調べ方、構成の考え方などの基礎的な知識習得を行う。後期は論文執筆のための具体的な作業のために、研究テーマについての基礎知識や先行研究の調査を行う。					
授業の狙い・到達目標	日本理解分野での論文執筆の力を身につけることができる。					
授業内容のレベル・関連科目	観光学Ⅰ・Ⅱ、地域文化と観光、観光学フィールドワーク、ビジネスモデル論、ビジネスモデル演習、多文化共生社会論					
授業外学習(予習・復習)	予復習に関する課題を毎回提出するので、それに従うこと。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間	
使用教科書	教科書は使用せず、適宜指示を行う。					
参考書・その他教材	テーマに合わせて随時参考文献を指示する。					
課題に対するフィードバック	前期は各教員の最後の講義でまとめを行う。					
成績評価方法	授業への貢献度(50%)、提出課題(50%)により、総合的に評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどの位到達したかを、大学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	日頃から授業に関連したニュース等を意識して、知識の取得に努めること。 復習を重点的におこない、授業内容の理解を深めること。					
科目に関連した教員の業務経験	旅行会社社員として旅行の企画や広告宣伝など旅行に関する一般的な業務を担当					
担当教員への連絡方法	授業前後での質問、ならびにメールでも受け付ける。メールアドレス hada@aikoku-u.org					

### 授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション シラバスをよく読み、自らの課題について検討すること 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
2回	学習内容 予習 復習	論文執筆のルールについて 配布資料を元に予習を行うこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
3回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定について・1 自分の関心のある課題を整理し、大まかなテーマについて検討しておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
4回	学習内容 予習 復習	研究テーマ設定について・2 自分の関心のある課題を整理し、大まかなテーマについて検討しておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
5回	学習内容 予習 復習	先行研究の探し方について 自分の研究テーマについて、関連する研究を調べておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
6回	学習内容 予習 復習	研究テーマの先行研究調査・1 研究テーマの先行研究について調べておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
7回	学習内容 予習 復習	研究テーマの先行研究調査・2 研究テーマの先行研究について調べておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
8回	学習内容 予習 復習	研究テーマの先行研究調査・3 研究テーマの先行研究について調べておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
9回	学習内容 予習 復習	先行研究についての中間報告 調査した先行研究について、自分なりにまとめておくこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
10回	学習内容 予習 復習	研究テーマについての検討・1 先行研究を元に、自分の研究テーマについて再度検討を行う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
11回	学習内容 予習 復習	研究テーマについての検討・2 先行研究を元に、自分の研究テーマについて再度検討を行う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
12回	学習内容 予習 復習	研究テーマについての検討・3 先行研究を元に、自分の研究テーマについて再度検討を行う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
13回	学習内容 予習 復習	論文の構成についての検討・1 執筆にあたり、論文の構成について検討を行うこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
14回	学習内容 予習 復習	論文の構成についての検討・2 執筆にあたり、論文の構成について検討を行うこと 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
15回	学習内容 予習 復習	前期まとめの発表 前期に調査した内容についてまとめること 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う

授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

16 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する基礎知識の習得 指導教員から休暇前に指示があるのでそれに従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
17 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する基礎知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
18 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する基礎知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
19 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する基礎知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
20 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する基礎知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
21 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する論文精読 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
22 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する論文精読 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
23 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する論文精読 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
24 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する論文精読 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
25 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する論文精読 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
26 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	専門分野に関する論文精読 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
27 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	論文作成に必要な専門知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
28 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	論文作成に必要な専門知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
29 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	論文作成に必要な専門知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う
30 回	<b>学習内容</b> <b>予習</b> <b>復習</b>	論文執筆に必要な専門知識の習得 指導教員からの指示に従う 指導教員から論文執筆に関する課題が出されるのでそれに従う

科目名	人間文化演習〔日本理解専攻〕			科目コード	31010	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	梶原 健嗣		教員コード	145	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・3時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	卒業論文で研究を深めるテーマ選びを目標に、毎回、演習を行う。 当初は、「調べる、発表すること自体を課題とし、そのなかで根拠の引用・紹介なども学んで行く。最終的には、自らテーマを選び、研究の基礎となる発表を行ってもらう。」					
授業の狙い・到達目標	卒業論文の作成は、本学での教育の集大成である。その目標に向けて2年間演習を積み重ねるが、1年目の人間文化演習では、その基礎固めを行う。卒業論文で取り組むテーマを発見することが最大の課題で、そのための基礎を培うことができる。					
授業内容のレベル・関連科目	授業のレベルは、「大学生生活の集大成」である。関連科目は特に明示しないが、これまでに本学履修したすべての科目が、「課題の発見・探求」に役だったはずである。					
授業外学習(予習・復習)	毎回、課題をこなしてくること。 報告・発表のなかで、教員に言われた課題を習得すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	特になし					
参考書・その他教材	特になし。講義のなかで指示する課題をこなすための参考書・資料を自ら発見することが、ゼミ学習の基本である。					
課題に対するフィードバック	人間研究演習では、卒業論文の作成に向けて、その基礎固めを行っていく。 毎回の授業は、そのフォローアップである。					
成績評価方法	平常点100% (毎回の課題をきちんとこなしてきたか) 期末試験は行わないので、30回の課題を毎回全力投球すること。					
成績評価基準	授業の狙いあげた学習到達目標にどのくらい到達したかを、本学の「学業成績判定に関する規程の基準」に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	復習をきちんとすること。特に、教員が演習中に指示した課題をしっかりとこなすこと。 <u>演習形式のため、学生の学習状況にあわせた進度の調整を行う場合がある。</u>					
科目に関連した教員の業務経験	特になし					
担当教員への連絡方法	メールでの質問 (kajiwara@aikoku-u.org)、またはオフィスアワー (新年度に掲示)。 もちろん授業終了後に、直接聞くことも可。					

### 授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

1 回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、本演習および卒業論文作成までのスケジュールを説明する。 シラバスをよく読み、本演習のスケジュールを把握しておくこと。 講義を踏まえて、シラバスを改めて読み返し、本演習のスケジュールを頭に叩き込む。
2 ・ 3 ・ 4 回	学習内容 予習 復習	<b>調べて発表すること【基礎編1】</b> まずは身近なテーマで報告することに慣れる。固いテーマは選ばず、まずは易しいテーマから始めたい。  教員が前回講義時に指定した課題で調べものをし、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること)  演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。
5 ・ 6 ・ 7 回	学習内容 予習 復習	<b>調べて発表すること【基礎編2】</b> 基礎編1(第2～4回)で調査・報告したテーマにつき、2回目を取り組んでみる。 演習内でアドバイスを受けた修正により、どのように報告が変わるか、実感する。  教員が前回講義時に指定した課題で調べものをし、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること)  演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。
8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 回	学習内容 予習 復習	<b>調べて発表すること【中級編1】</b> 基礎編1・2を踏まえ、少し抽象的・高度なテーマに取り組んでみる。 中級編までは、課題は教員が指定する。  教員が前回講義時に指定した課題で調べものをし、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること)  演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。
12 ・ 13 ・ 14 ・ 15 回	学習内容 予習 復習	<b>調べて発表すること【中級編2】</b> 中級編1(第8～11回)で調査・報告したテーマにつき、2回目を取り組んでみる。 演習内でアドバイスを受けた修正により、どのように報告が変わるか、実感する。  教員が前回講義時に指定した課題で調べものをし、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること)  演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。

授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

16 ・ 17 ・ 18 ・ 19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 回	<p><b>学習内容</b></p> <p>調べて発表すること【上級編1】 上級編からは、テーマ選びも含めて自分で考える。 前半15回の演習でおぼろげに、自分の興味・関心の範囲は見えてきたはずなので、それを踏まえて、テーマを絞り込むための演習に移行する。</p> <p><b>予習</b></p> <p>教員が前回講義時に指定した課題で調べものをして、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること)</p> <p><b>復習</b></p> <p>演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。</p>
23 ・ 24 ・ 25 ・ 26 ・ 27 ・ 28 ・ 29 回	<p><b>学習内容</b></p> <p>調べて発表すること【上級編2】 上級編1(第16～22回)で調査・報告したテーマにつき、2回目を取り組んでみる。 演習内でアドバイスを受けた修正により、どのように報告が変わるか、実感する。</p> <p><b>予習</b></p> <p>教員が前回講義時に指定した課題で調べものをして、プレゼンにまとめる。 (指定日までに、課題をメールで送ること)</p> <p><b>復習</b></p> <p>演習内で教員から指導されたことを踏まえ、予習時に作成したプレゼンを修正する。</p>
30 回	<p><b>学習内容</b></p> <p>卒業論文を見直し、現時点で考えているテーマにつき、検討会を行う。</p> <p><b>予習</b></p> <p>1年間の演習での発表を踏まえ、卒業論文で扱いたいテーマにつき、絞り込みを行う。</p> <p><b>復習</b></p> <p>検討会を踏まえ、4年次(執筆)に向けた見直しを確認する。</p>

科目名	人間文化演習〔日本理解専攻〕			科目コード	31010		
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	部田 和美		教員コード	153	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	木曜日・3時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前半は言語学・日本語学やそれに関連する分野の文献を読み、内容を理解し要点を押さえてまとめる作業をする。後半は前半で扱ったテーマを中心に、学生自身が研究テーマとして扱いたいものを選び、関連する先行研究を収集し読み進める。言語学の研究方法についても学ぶ。						
授業の狙い・到達目標	言語学、日本語学に関する論文を理解し、卒業論文を作成するに足る知識を身に付ける。また、文献から自身で問題点を見つけ、研究に繋げるための思考力、洞察力を養う。総じて卒業論文を作成する準備が整えることができる。						
授業内容のレベル・関連科目	基礎的な日本語文法の知識が必要。 関連科目：日本語学概論Ⅰ・Ⅱ						
授業外学習(予習・復習)	予習：扱う文献をよく読み込んでくる。 復習：教員の与えた課題を行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間		
使用教科書	特になし。教員が文献資料を配布する。						
参考書・その他教材	定延利之編『私たちの日本語』朝倉書店 定延利之編『私たちの日本語研究』朝倉書店 岡崎友子他編『ココが面白い！日本語学』ココ出版						
課題に対するフィードバック	毎回の課題(論文要点のまとめ)の修正点を確認し、重要な点は授業で共有する。						
成績評価方法	授業への参加態度30%、毎週の課題30%、最終レポート40%						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	授業以外の日常生活においても、そこで使用されている言葉や表現に関心を持ち、疑問に思ったことなどはメモに書き留めておく。(そうした日頃の小きな疑問から研究テーマが見つかることが多い)						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	torita@aikoku-u.org						

### 授業スケジュール

### 人間文化演習〔日本理解専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション 日本語学の内容の確認と授業で各分野で扱うテーマの決定 日本語学概論Ⅰ・Ⅱで学んだことを確認する 教員からの課題を行う
2回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する論文(1)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
3回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する論文(1)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
4回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する論文(2)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
5回	学習内容 予習 復習	日本語文法に関する論文(2)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
6回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(1)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
7回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(1)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
8回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(2)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
9回	学習内容 予習 復習	日本語の談話に関する論文(2)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
10回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(1)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
11回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(1)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
12回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(2)論文の精読と内容理解 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 論文で分からなかったところや疑問点等をまとめる
13回	学習内容 予習 復習	社会言語学に関する論文(2)学生の作成したレジュメをもとに問題点を探る 要点をまとめたレジュメを作成する レジュメを修正し、完成させる
14回	学習内容 予習 復習	日本語コーパスに関する資料(1) 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 教員からの課題を行う
15回	学習内容 予習 復習	日本語コーパスに関する資料(2) 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく 教員からの課題を行う

授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

16回	<p><b>学習内容</b> 前半に扱った論文を振り返り、関心のあるテーマを考える(ディスカッション)</p> <p><b>予習</b> 休暇中に自身が研究したいテーマの候補をいくつか挙げておく</p> <p><b>復習</b> 教員からの課題を行う</p>
17回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(1)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
18回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(2)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
19回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(3)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
20回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(4)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
21回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(5)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
22回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(6)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
23回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(7)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
24回	<p><b>学習内容</b> 学生の関心に沿った論文の精読と要点理解(8)</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 精読した論文の要点をまとめる(文書にする)</p>
25回	<p><b>学習内容</b> 言語研究の方法(1) 資料講読</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 教員からの課題を行う</p>
26回	<p><b>学習内容</b> 言語研究の方法(2) 資料講読</p> <p><b>予習</b> 事前に配布された論文を読み、大体的内容を把握しておく</p> <p><b>復習</b> 教員からの課題を行う</p>
27回	<p><b>学習内容</b> 言語研究の方法(3) 実践練習</p> <p><b>予習</b> 教員からの課題を行う</p> <p><b>復習</b> 教員からの課題を行う</p>
28回	<p><b>学習内容</b> 言語研究の方法(3) 実践練習</p> <p><b>予習</b> これまで扱った論文で関心のあるもの、理解が難しかったものをまとめておく</p> <p><b>復習</b> 教員からの課題を行う</p>
29回	<p><b>学習内容</b> 全体のまとめと振り返り(1)</p> <p><b>予習</b> これまで扱った論文で関心のあるもの、理解が難しかったものをまとめておく</p> <p><b>復習</b> 関心のあるテーマについて文書にまとめてみる</p>
30回	<p><b>学習内容</b> 全体のまとめと振り返り(2)</p> <p><b>予習</b> 教員からの卒業論文テーマに関する課題を行う</p> <p><b>復習</b> 卒業論文作成に向けて必要な論文を確認する</p>

科目名	人間文化演習〔日本理解専攻〕			科目コード	31010		
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Japan Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	清水 聖子	教員コード	132	単位数	2単位		
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・3時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	授業の前半では、異文化理解、バイリンガル教育、日本語教育の研究を紹介し、それをもとに、自分の興味関心のある研究テーマを考える。授業の後半では、卒業論文に必要な論文の読み方や書き方、研究方法などをレクチャーする。						
授業の狙い・到達目標	前期では、それぞれの研究分野のことを知り、卒業論文を書くための基礎的な知識を身につけることができる。後期では、自分の興味関心のある研究テーマを定め、関連研究の文献を読み、調べ、まとめることができる。最終的に卒業論文を書く準備ができようになり、また、研究計画を立てられることができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	関連科目:「異文化理解」、「バイリンガル教育論」、「日本語学概論Ⅰ、Ⅱ」、「日本語Ⅰ、Ⅱ」						
授業外学習(予習・復習)	予習として、今まで受けた関連科目の講義内容のプリントや教科書にもう一度目を通して置く。復習として、ゼミでやった内容をまとめ、指定した課題を行う。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	戸田山和久『最新版 論文の教室 レポートから卒業まで』NHKブックス						
参考書・その他教材	必要に応じて教員が補足資料を渡す。						
課題に対するフィードバック	随時フィードバックを行う						
成績評価方法	授業への貢献度40%、課題・発表60%で総合評価する						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	毎回授業に出席し、積極的にゼミや議論に参加すること						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(mail to : shimizu@aikoku-u.org)件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

### 人間文化演習〔日本理解専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション—今後の授業の内容や進め方について説明する シラバスを熟読し、ゼミ概要についておおむね理解しておくこと ゼミで説明されたことを振り返る
2回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(異文化理解①) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
3回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(異文化理解②) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
4回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(異文化理解③) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
5回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(バイリンガル教育①) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
6回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(バイリンガル教育②) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
7回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(バイリンガル教育③) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
8回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(日本語教育①) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
9回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(日本語教育②) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
10回	学習内容 予習 復習	研究分野紹介(日本語教育③) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の論文を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
11回	学習内容 予習 復習	研究の基本的スキル(論文とは・問いと主張と論証) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の章を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
12回	学習内容 予習 復習	研究の基本的スキル(論文の段取り・型にはまった文章) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の章を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
13回	学習内容 予習 復習	研究の基本的スキル(型にはまった文章・アウトライン) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の章を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
14回	学習内容 予習 復習	研究の基本的スキル(論証とは・パラグラフ・ライティング) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の章を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
15回	学習内容 予習 復習	研究の基本的スキル(わかりやすい文章を書くためには・最後の仕上げ) 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の章を読んでおくこと ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること

授業スケジュール

人間文化演習〔日本理解専攻〕

16回	<b>学習内容</b> 研究の基本的スキル(振り返り) <b>予習</b> 教師の指示に従い、ゼミで扱う部分の章を読んでおくこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
17回	<b>学習内容</b> 自分の興味関心のある研究分野は何かを考え、まとめる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
18回	<b>学習内容</b> 自分の興味関心のある研究分野は何かを考え、まとめる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
19回	<b>学習内容</b> 自分の興味関心のある分野の先行研究を調べ、まとめる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
20回	<b>学習内容</b> 自分の興味関心のある分野の先行研究を調べ、まとめる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
21回	<b>学習内容</b> 自分の興味関心のある分野の先行研究を調べ、まとめる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
22回	<b>学習内容</b> 自分の興味関心のある分野の先行研究を調べ、まとめる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
23回	<b>学習内容</b> 発表の仕方を学ぶ <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
24回	<b>学習内容</b> 中間報告を行う <b>予習</b> 中間報告をまとめること <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
25回	<b>学習内容</b> 中間報告を基に、自分の興味関心のある分野の先行研究を振り返り、自分のテーマに結びつける <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
26回	<b>学習内容</b> 中間報告を基に、自分の興味関心のある分野の先行研究を振り返り、自分のテーマに結びつける <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
27回	<b>学習内容</b> 中間報告を基に、自分の興味関心のある分野の先行研究を振り返り、自分のテーマに結びつける <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
28回	<b>学習内容</b> 卒論に向けて、研究計画を立てる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
29回	<b>学習内容</b> 卒論に向けて、研究計画を立てる <b>予習</b> 教師の指示に従い、課題を行うこと <b>復習</b> ゼミで扱った内容を自分なりにまとめ、理解を深めること
30回	<b>学習内容</b> まとめ・振り返り <b>予習</b> これまでの学習内容を振り返ること <b>復習</b> 卒論に向けて、準備計画をすること



科目名	人間文化演習[ビジネス専攻]			科目コード	31010		
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	大屋 伸彦		教員コード	161	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・2時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	論文を作成する上でのマナーや書き方を理解する。 ビジネスや情報に関連する社会問題について広く理解する。						
授業の狙い・到達目標	理論的な物の考え方を身につけ、プレゼンテーションの能力を身につけることができる。 文章作成能力が身につけることができる。 他者への意見を自分の言葉で述べられるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	ビジネス専攻に関係する知識を得ていることが前提となる。 これまで履修した科目がすべてが関連する。						
授業外学習(予習・復習)	何事も受け身にならず、自ら調べ疑問を解決できるように心がけること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	教員が資料を配布する予定。						
参考書・その他教材	講義内で必要となった場合に指示する。						
課題に対するフィードバック	講義内に行う。						
成績評価方法	課題レポート(70%)、講義への取り組み(30%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	課題提出の期日は必ず守ること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	メールでの質問(ohya@aikoku-u.org)またはオフィシアワー(初回講義時にアナウンスする)。メールでの問合せは、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

人間文化演習[ビジネス専攻]

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション(講義の進め方など) シラバスを読んでおくこと 講義の目的を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようにに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
3回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようにに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
4回	学習内容 予習 復習	身のまわりにある社会問題についてのディスカッション 自分がどのようにに興味があるのか考えておくこと 他者の意見を参考に自分の考えをまとめること
5回	学習内容 予習 復習	論文とは？(概要の説明、昨年度の例を参考に) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
6回	学習内容 予習 復習	論文とは？(引用文献について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
7回	学習内容 予習 復習	論文とは？(引用文献の整理方法) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
8回	学習内容 予習 復習	論文とは？(論文の表現や盗用について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
9回	学習内容 予習 復習	論文とは？(論文の表現や盗用について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
10回	学習内容 予習 復習	論文の書き方(起承転結について) 配布のプリントを読んでおくこと 講義の内容を理解しておくこと
11回	学習内容 予習 復習	論文の書き方(実践:wordの使い方) PCの操作について復習しておくこと 講義の内容を理解しておくこと
12回	学習内容 予習 復習	発表スライドの作り方(実践:powerpointの使い方) PCの操作について復習しておくこと 講義の内容を理解しておくこと
13回	学習内容 予習 復習	発表準備(テーマはこちらで指定) 発表の準備をすすめておくこと 発表の準備をすすめておくこと
14回	学習内容 予習 復習	発表準備 発表の準備をすすめておくこと 発表の準備をすすめておくこと
15回	学習内容 予習 復習	発表 発表の準備をすすめておくこと 他者の発表から学べたことをまとめておくこと

授業スケジュール

人間文化演習[ビジネス専攻]

16回	<p><b>学習内容</b> テーマを自分で考えて論文が作成できるかを検討する</p> <p><b>予習</b> 各自でテーマを考えておく</p> <p><b>復習</b> 講義の内容を理解しておくこと</p>
17回	<p><b>学習内容</b> テーマに沿ったマインドマップを考える</p> <p><b>予習</b> 情報を整理しておくこと</p> <p><b>復習</b> 講義の内容を理解しておくこと</p>
18回	<p><b>学習内容</b> 発表したいテーマを決定する</p> <p><b>予習</b> テーマについてリサーチしておくこと</p> <p><b>復習</b> 講義の内容を理解しておくこと</p>
19回	<p><b>学習内容</b> 論文を書いていく</p> <p><b>予習</b> テーマについてリサーチしておくこと</p> <p><b>復習</b> 文章を書いていく</p>
20回	<p><b>学習内容</b> 論文を書いていく(適宜フィードバック)</p> <p><b>予習</b> 文章を書いていく</p> <p><b>復習</b> 文章を書いていく</p>
21回	<p><b>学習内容</b> 論文を書いていく(適宜フィードバック)</p> <p><b>予習</b> 文章を書いていく</p> <p><b>復習</b> 文章を書いていく</p>
22回	<p><b>学習内容</b> 論文をもとにスライドを作成していく</p> <p><b>予習</b> powerpointを復習しておくこと</p> <p><b>復習</b> スライドの作成</p>
23回	<p><b>学習内容</b> 論文をもとにスライドを作成していく</p> <p><b>予習</b> スライドの作成</p> <p><b>復習</b> スライドの作成</p>
24回	<p><b>学習内容</b> 論文をもとにスライドを作成していく</p> <p><b>予習</b> スライドの作成</p> <p><b>復習</b> スライドの作成</p>
25回	<p><b>学習内容</b> 発表</p> <p><b>予習</b> スライドの作成</p> <p><b>復習</b> 発表でできなかったことを修正する</p>
26回	<p><b>学習内容</b> 発表のフィードバック</p> <p><b>予習</b> 発表でできなかったことを修正する</p> <p><b>復習</b> 発表でできなかったことを修正する</p>
27回	<p><b>学習内容</b> 発表のフィードバック</p> <p><b>予習</b> 発表でできなかったことを修正する</p> <p><b>復習</b> 発表でできなかったことを修正する</p>
28回	<p><b>学習内容</b> 再発表</p> <p><b>予習</b> 発表でできなかったことを修正する</p> <p><b>復習</b> 発表でできなかったことを修正する</p>
29回	<p><b>学習内容</b> 再発表のフィードバック</p> <p><b>予習</b> 発表でできなかったことを修正する</p> <p><b>復習</b> 発表でできなかったことを修正する</p>
30回	<p><b>学習内容</b> これまでの総括</p> <p><b>予習</b> これまでの講義を振り返っておくこと</p> <p><b>復習</b> 次年度に向けて自分に必要なことを考えておく</p>

科目名	人間文化演習〔ビジネス専攻〕				科目コード	31010	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	日坂 彰		教員コード	137	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	金曜日・2時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/> 1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/> 2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する	<input type="radio"/> 3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/> 4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する	<input checked="" type="radio"/> 5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/> 6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う	
授業概要	課題設定能力、情報収集・分析能力と解決案としての企画立案能力を養うことを目的としている。毎回テーマを提示し、教師と学生が問答を通して、学生の考える力を引き出すことをねらいとしている。						
授業の狙い・到達目標	問題解決の流れや手法を理解させ、問題の構造や本質を見極めることができる能力を涵養する。問題の社会的背景や要点間の連関を俯瞰的視点で考える能力が習得できる。						
授業内容のレベル・関連科目	共通科目全般及びビジネス専攻科目に加えて、本学開講科目のあらゆる科目との関連可能性あり						
授業外学習(予習・復習)	授業の最後に、まとめの復習スライドと次回講義の予習スライドを配布する。これにもとづいて、予習、復習すること。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	桑田てるみ、「学生のレポート・論文作成トレーニング」改訂版、実教出版						
参考書・その他教材	石井 一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社						
課題に対するフィードバック	課題演習や不定期に「理解度の確認テスト」などをおこない、次の週に解答を示す。						
成績評価方法	①レポート(80%)、②平常点(20%)により評価する。						
成績評価基準	授業において、課題設定、情報収集・分析、解決案に積極的に取り組んでいるかどうか、また本学の学業成績判定に関する規程の基準に準拠する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	創発的な交流と品格ある場を皆で形成し、少人数のチーム編成で問題・課題を抽出するために能動的かつ積極的な姿勢で臨んでいただきたい。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	日坂彰(につさかあきら) anissaka@aikoku-u.org 送信に際しては件名、学籍番号、氏名を忘れずに記入すること。						

### 授業スケジュール

### 人間文化演習〔ビジネス専攻〕

1回	学習内容 予習 復習	<イントロダクション>授業の進め方、目標の確認 シラバスをあらかじめ読んでおくこと 授業の進め方などについて振り返ること
2回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(1)> 問題解決演習PBLについて 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習課題について考える
3回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(1)> PBLの基本構成について 演習課題について考える 演習を振り返ること
4回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>問題解決演習の進め方 演習課題について考える 演習内容についてまとめを作成すること
5回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>チームによる解決手法 予習スライドを読んでおくこと 授業を振り返ること
6回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>役割分担とコミュニケーション 予習スライドを読んでおくこと 授業を振り返ること
7回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>学習計画とスケジュールリング 予習スライドを読んでおくこと 授業を振り返ること
8回	学習内容 予習 復習	<事例紹介>情報収集分析演習 予習スライドを読んでおくこと 授業を振り返ること
9回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習の進め方の資料を読んでおくこと 演習を振り返ること
10回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習内容について考える 演習を振り返ること
11回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> テーマAによる演習・ディスカッション 演習課題について考える 演習のまとめを作成すること
12回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでおくこと 演習を振り返る
13回	学習内容 予習 復習	<問題解決演習(2)> レポート作成 予習スライドを読んでおくこと 演習を振り返る
14回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る
15回	学習内容 予習 復習	<発表と評価> 発表を準備する 演習を振り返る

授業スケジュール

人間文化演習(ビジネス専攻)

16回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマBによる演習</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
17回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマBによる演習・ディスカッション</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
18回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマBによる演習・ディスカッション</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習内容のまとめを作成すること</p>
19回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマBのレポート作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
20回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマBのパワーポイント作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
21回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマBのパワーポイント作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習内容のまとめを作成すること</p>
22回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCによる演習</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
23回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCによる演習・ディスカッション</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
24回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCによる演習・ディスカッション</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
25回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCのレポート作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
26回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCのレポート作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
27回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCのパワーポイント作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 演習を振り返ること</p>
28回	<p><b>学習内容</b> &lt;問題解決演習(2)&gt; テーマCのパワーポイント作成</p> <p><b>予習</b> 予習スライドを読んでくこと</p> <p><b>復習</b> 発表の準備をする</p>
29回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表と評価&gt;</p> <p><b>予習</b> 発表の準備をする</p> <p><b>復習</b> 発表を振り返ること</p>
30回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表と評価&gt;総合発表</p> <p><b>予習</b> 発表の準備をする</p> <p><b>復習</b> 授業の全体を振り返ること</p>

科目名	人間文化演習[ビジネス専攻]				科目コード	31010	
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)				科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	呉 蔭		教員コード	157	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	人間文化演習では、経済社会の諸現象、諸問題を理解するための基礎知識を習得し、課題の作成により、研究背景・研究課題・先行研究の整理並びに文献・情報の収集と分析等に基づいた学術的文章作成のスキルを高める。						
授業の狙い・到達目標	経済社会の諸現象、諸問題を論理的に分析する基礎知識を学ぶ。統計データに基づいた分析のスキルを習得し、論理的文章を作成することができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	論理的な文章の作成に必要なとされる基礎知識とスキルを習得する。関連科目：卒業研究演習に限らない。						
授業外学習(予習・復習)	配布資料と教科書の予習・復習、事前・事後調べが必要である。演習での指導内容を踏まえ、小論文を作成する。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計120時間		
使用教科書	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング』(改訂版)実教出版(2015)						
参考書・その他教材	龍谷大学農学部食料農業システム学科編『知っておきたい食・農・環境』昭和堂(2016)、『農業と経済』昭和堂(2020年以降の特集)、『食料・農業・農村白書』農林水産省など						
課題に対するフィードバック	課題に対して、次の演習で解説と講評を行う。						
成績評価方法	小論文作成30%、発表30%、輪読に対する理解度20%、平常点20%						
成績評価基準	演習課題の完成度をはじめとする自主的に取り組んでいた成果を踏まえ、大学の「学業成績判定に関する規定の基準」に基づき、到達度を総合的に評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	計画通りに主体的に取り組む。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問や相談など、メール(wu@aikoku-u.org)あるいは対面に対応する。メールの場合、件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載する。対面の場合、授業終了後あるいはオフィスアワー(新年度に掲示)に対応する。						

授業スケジュール 人間文化演習[ビジネス専攻]

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、関心を持つ社会現象、社会問題への探究 シラバスを事前に確認し、関心を持っている社会現象や社会問題を5分間で説明してみる。 テーマに対するコメントを確認し、より深く調べるために、どのようなスキルが必要かを考える。
2回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基本を知る 教科書の指定ページを予習する。 教科書の指定ページ、授業中の解説を復習し、演習課題を完成し、次の演習で発表する。
3回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(1) 発想力、読解力 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
4回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(2) 要約力 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
5回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(3) 新聞から学ぶ要約の仕組み 教科書の指定ページ、新聞記事の内容を予習する。 教科書の指定ページ、演習中の解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
6回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(4) 批判的思考力 教科書の指定ページを予習する。 教科書の指定ページ、演習中の解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
7回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(5) 表現力集中トレーニング 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
8回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(6) 表現力集中トレーニング 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
9回	学習内容 予習 復習	レポート・論文を書くための基礎能力の養成(7) レポート・論文の表現 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 演習内容と解説を復習し、演習課題を完成して次の演習で発表する。
10回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(1) 輪読と発表 問題意識 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、問題意識を考えて次の演習で発表する。
11回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(2) 輪読と発表 論点を考える 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、論点を考えて次の演習で発表する。
12回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 課題発見力の養成(3) 輪読と発表 論点を絞る 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、論点を絞って次の演習で発表する。
13回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報探索力の養成(1) 輪読と発表 情報を探す 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、関連する情報を収集して次の演習で発表する。
14回	学習内容 予習 復習	スキルアップ 情報探索力の養成(2) 輪読と発表 文献を探す 教科書の指定ページ、輪読用の配布資料を予習する。 輪読用の配布資料と解説を復習し、関連する文献を整理して次の演習で発表する。
15回	学習内容 予習 復習	前期の総括 テーマ型小論文の作成 第2～14回の内容を復習し、関心を持っているテーマを探し、5分間で説明できるようにする。 第2～14回の内容を復習し、夏休み期間中にテーマ型小論文を完成する。

授業スケジュール

人間文化演習[ビジネス専攻]

	<b>学習内容</b> <b>後期の学習目標、前期の課題発表</b>
16回	<b>予習</b> シラバスを事前に確認し、前期の課題であるテーマ型小論文の質を高める。 <b>復習</b> テーマ型小論文に対する講評と自分の新しい考えを踏まえ、小論文を修正して再提出する。
17回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ 情報整理力の養成(1) 文献の整理と保存</b> <b>予習</b> 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、文献を整理して保存する。
18回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ 情報整理力の養成(2) 文献の取捨選択</b> <b>予習</b> 教科書の指定ページ、配布資料を予習する。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、関心を持っているテーマに関する文献の取捨選択を行う。
19回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(1) 統計データの読み方(FAO等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
20回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(2) 統計データの読み方(FAO等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
21回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(3) 統計データの読み方(農林水産省等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
22回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(4) 統計データの読み方(農林水産省等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
23回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(5) 統計データの読み方(経済産業省等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
24回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(6) 統計データの読み方(経済産業省等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、統計データを調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、統計データに基づいて図表を作成して文章で説明する。
25回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(7) 財務諸表の読み方(上場企業の損益計算書等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、上場企業の損益計算書を調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、上場企業の複数年度の損益計算書を踏まえて解説を行う。
26回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ データ分析力の養成(8) 財務諸表の読み方(上場企業の損益計算書等)</b> <b>予習</b> 輪読用の配布資料を予習し、上場企業の損益計算書を調べる。 <b>復習</b> 演習内容と解説を復習し、上場企業の複数年度の損益計算書を踏まえて解説を行う。
27回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ 課題考察力の養成 考察を深める</b> <b>予習</b> 教科書の指定ページと輪読用の配布資料を予習する。 <b>復習</b> 演習内容と解説を踏まえ、第26回までに取り組んできた課題の一つを選択し、考察を深める。
28回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ 論文構成力の養成</b> <b>予習</b> 教科書の指定ページと配布資料を予習する。 <b>復習</b> 演習内容と解説を踏まえ、卒論のテーマを考えて論文の骨子を考えてみる(箇条書き)。
29回	<b>学習内容</b> <b>スキルアップ 文章構成力の養成</b> <b>予習</b> 教科書の指定ページと配布資料を予習する。 <b>復習</b> 演習内容と解説を踏まえ、卒論の章立てを考える。
30回	<b>学習内容</b> <b>総括(論文作成の要領をまとめる)、卒業研究演習に向けた準備</b> <b>予習</b> 第2～29回の演習内容等を復習し、卒論のテーマを真剣に考える。 <b>復習</b> 第2～29回の演習内容等を復習し、問題意識を明確にし、文献とデータの整理を行う。

科目名	人間文化演習[ビジネス専攻]			科目コード	31010		
英文名	Graduation Research Seminar I (Major of Business Studies)			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)		
担当教員	中野 慶昭		教員コード	163	単位数	2単位	
開講期間	通年	曜日・時限	月曜日・4時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける		<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う		<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する		<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	この演習では、自身の身近な興味や関心についての社会問題や会社組織の問題を提起し、その問題に対して情報分析や理論を用いて、自身の意見を論文で述べる力を養う。						
授業の狙い・到達目標	客観的根拠から自身の意見を述べる力を身につけることができる。 卒業論文を作成するために必要な文章作成能力を身につけることができる。 発表する力(プレゼンテーション能力)を身につけることができる。						
授業内容のレベル・関連科目	大学生として期待されるレポート、文書作成能力を養う。 関連科目は、これまで履修した全科目とする。						
授業外学習(予習・復習)	自身の関心や問題に関連する情報を自身で収集しておく。 演習後、自身でレポートや小論文を作成する。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間		
使用教科書	桑田てるみ、『学生のレポート・論文作成トレーニング』改訂版、実教出版。						
参考書・その他教材	石井一成、「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」、ナツメ社。						
課題に対するフィードバック	講義内、レポート返却時およびプレゼンテーション時に適宜フィードバックする。						
成績評価方法	小論文作成(30%)、発表(30%)、課題理解度(20%)、平常点(20%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	計画を立てて主体的に取り組み、課題の提出期日を厳守すること。						
科目に関連した教員の実務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること。						

### 授業スケジュール

人間文化演習[ビジネス専攻]

1回	学習内容 予習 復習	〈イントロダクション〉 演習の進め方 シラバスを読み、身の回りにおける社会問題や会社組織の問題について考えておく 演習の目的および目標を理解しておくこと
2回	学習内容 予習 復習	〈論文の概説〉 レポート・論文を書くための基本 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
3回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルの説明①〉 発想力、読解力 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
4回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルの説明②〉 要約力① 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
5回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルの説明③〉 要約力② 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
6回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルの説明④〉 批判的思考力 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
7回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルの説明⑤〉 表現力① 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
8回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルの説明⑥〉 表現力② 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
9回	学習内容 予習 復習	〈基本スキルのまとめ〉 これまでのまとめ これまでの演習を振り返り、教科書の該当部分を読んでおく 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
10回	学習内容 予習 復習	〈論文作成スキル①〉 課題発見力① 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
11回	学習内容 予習 復習	〈論文作成スキル②〉 課題発見力② 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
12回	学習内容 予習 復習	〈論文作成スキル③〉 課題発見力③ 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
13回	学習内容 予習 復習	〈論文作成スキル④〉 情報探索力① 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
14回	学習内容 予習 復習	〈論文作成スキル⑤〉 情報探索力② 教科書を読んでおくこと 授業内容を復習し、演習課題を完成させて次回の演習で発表する
15回	学習内容 予習 復習	〈前期の総括〉 小論文の作成 これまでの演習を振り返り、身近なテーマを探す。 これまでの演習を振り返り、夏休み期間中に小論文を完成させる

授業スケジュール

人間文化演習[ビジネス専攻]

16回	<p><b>学習内容</b> &lt;剽窃の説明&gt; 論文の盗用について</p> <p><b>予習</b> 事前配布資料を読んでおくこと</p> <p><b>復習</b> 講義の内容を振り返り、次回の演習で発表する</p>
17回	<p><b>学習内容</b> &lt;小論文作成①&gt; 小論文のフィードバック①</p> <p><b>予習</b> 小論文の作成</p> <p><b>復習</b> 小論文の修正</p>
18回	<p><b>学習内容</b> &lt;小論文作成②&gt; 小論文のフィードバック②</p> <p><b>予習</b> 小論文の作成</p> <p><b>復習</b> 小論文の修正</p>
19回	<p><b>学習内容</b> &lt;小論文作成③&gt; 小論文のフィードバック③</p> <p><b>予習</b> 小論文の作成</p> <p><b>復習</b> 小論文の修正</p>
20回	<p><b>学習内容</b> &lt;小論文作成④&gt; 小論文のフィードバック④</p> <p><b>予習</b> 小論文の作成</p> <p><b>復習</b> 小論文の修正</p>
21回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表用資料作成①&gt; 小論文の説明資料をPowerPointで作成①</p> <p><b>予習</b> PowerPointの復習</p> <p><b>復習</b> 説明資料の作成</p>
22回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表用資料作成②&gt; 小論文の説明資料をPowerPointで作成②</p> <p><b>予習</b> PowerPointでの説明資料作成</p> <p><b>復習</b> 説明資料の作成</p>
23回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表用資料作成③&gt; 小論文の説明資料をPowerPointで作成③</p> <p><b>予習</b> PowerPointでの説明資料作成</p> <p><b>復習</b> 説明資料の作成</p>
24回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表&gt; 小論文の内容をPowerPointで説明する</p> <p><b>予習</b> PowerPointでの説明資料作成</p> <p><b>復習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p>
25回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表用資料修正①&gt; 発表のフィードバック①</p> <p><b>予習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p> <p><b>復習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p>
26回	<p><b>学習内容</b> &lt;発表用資料修正②&gt; 発表のフィードバック②</p> <p><b>予習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p> <p><b>復習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p>
27回	<p><b>学習内容</b> &lt;再発表①&gt; 小論文の内容をPowerPointで再発表する</p> <p><b>予習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p> <p><b>復習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p>
28回	<p><b>学習内容</b> &lt;再発表②&gt; 再発表のフィードバック①</p> <p><b>予習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p> <p><b>復習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p>
29回	<p><b>学習内容</b> &lt;再発表③&gt; 再発表のフィードバック②</p> <p><b>予習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p> <p><b>復習</b> フィードバックなど、説明資料の修正</p>
30回	<p><b>学習内容</b> &lt;総括&gt; これまでの講義を総括する</p> <p><b>予習</b> これまでの講義を振り返る</p> <p><b>復習</b> 卒業論文作成に向け、必要なことを考えておく</p>



科目名	人間文化演習〔環境福祉分野〕			科目コード	31011	
英文名	Graduation Research Seminar I 〔Environmental Study and Social Welfare〕			科目区分	【卒業研究】 (必修科目)	
担当教員	岡庭義行/中村壘		教員コード	159/138	単位数	2単位
開講期間	通年	曜日・時限	火曜日・2時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	<input checked="" type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探求する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前期は、環境、福祉、経済の各分野について、基礎的な見方、文献・データの読み方、調査の方法、レポートの書き方、課題の発表の仕方を学ぶ。後期は、各自が次年度の卒業論文執筆を意識し、関心を持つ課題について教員や他の学生と討論をしながら理解を深める。					
授業の狙い・到達目標	環境福祉分野で論文を書く力を身に付ける。					
授業内容のレベル・関連科目	関連科目：「環境学入門」、「環境行政と福祉行政Ⅰ・Ⅱ」、「生活福祉論」、「社会福祉論」、「現代経済入門」					
授業外学習(予習・復習)	毎回、授業計画や教員からの指示をよく確認して予習に取り組みむこと また、毎回授業内容について振り返り、復習を行うこと			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計120時間	
使用教科書	特になし。					
参考書・その他教材	毎回、授業計画や教員からの指示をよく確認して予習に取り組みむこと また、毎回授業内容について振り返り、復習を行うこと					
課題に対するフィードバック	作成したレジュメについて、討論の中でコメントをする。					
成績評価方法	平常点(50%)と報告・内容(50%)で評価する。					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	積極的にゼミに参加し、わからないことがあれば質問すること。					
科目に関連した教員の業務経歴	特になし。					
担当教員への連絡方法	岡 庭・連絡先:okaniwa@aikoku-u.org 中 村・連絡先:nakamura@aikoku-u.org					

### 授業スケジュール

人間文化演習〔環境福祉分野〕

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション及び環境学分野の紹介 シラバスを熟読して、本授業の概要、授業方法などを理解しておくこと 授業の概要、授業方法などについて振り返りを行うこと
2回	学習内容 予習 復習	環境問題に関する統計データについて学ぶ。 環境白書の中に記載されている環境問題に関する各種統計データを調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
3回	学習内容 予習 復習	環境問題に関する文献について学ぶ。 環境問題に関する代表的文献(出版物)を調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
4回	学習内容 予習 復習	環境問題に関する調査の方法及びレポートの書き方について学ぶ 自ら調査するとしたらどのような内容・方法の調査ができるか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
5回	学習内容 予習 復習	環境問題に関する課題の選定方法などについて学ぶ。 環境問題を卒論でとり上げるとしたら、どのようなものになりたいか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
6回	学習内容 予習 復習	社会福祉分野の紹介 社会福祉論、生活福祉論等の授業で学んだことを整理しておくこと 授業について振り返りを行うこと
7回	学習内容 予習 復習	福祉に関する統計データについて学ぶ 事前に配布するレジュメを読んでおくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
8回	学習内容 予習 復習	福祉に関する文献について学ぶ 興味のある福祉の分野に関する文献(出版物)を調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
9回	学習内容 予習 復習	福祉に関する調査の方法及びレポートの書き方について学ぶ 自ら調査するとしたらどのような内容・方法の調査ができるか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
10回	学習内容 予習 復習	福祉に関する課題の選定方法などについて学ぶ 福祉を卒論でとり上げるとしたら、どのようなものになりたいか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
11回	学習内容 予習 復習	経済学分野の紹介 社会経済に関係する授業で学んだことを整理しておくこと 授業について振り返りを行うこと
12回	学習内容 予習 復習	経済に関する統計データについて学ぶ。 事前に配布するレジュメを読んでおくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
13回	学習内容 予習 復習	経済に関する文献について学ぶ。 経済に関する代表的文献(出版物)を調べておくこと 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
14回	学習内容 予習 復習	経済に関する調査の方法及びレポートの書き方について学ぶ 自ら調査するとしたらどのような内容・方法の調査ができるか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること
15回	学習内容 予習 復習	経済に関する課題の選定方法などについて学ぶ。 経済を卒論でとり上げるとしたら、どのようなものになりたいか考えてくること 授業について振り返りを行い、レポートにまとめて提出すること

授業スケジュール

人間文化演習〔環境福祉分野〕

16回	<p><b>学習内容</b> イントロダクション</p> <p><b>予習</b> 前期に学んだことを確認すること</p> <p><b>復習</b> 授業の概要、授業方法などについて振り返りを行うこと</p>
17回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅰ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
18回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅱ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
19回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅲ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
20回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅳ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
21回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅴ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
22回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅵ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
23回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅶ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
24回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅷ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
25回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅸ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
26回	<p><b>学習内容</b> 文献購読Ⅹ</p> <p><b>予習</b> 指定された箇所を読み、担当者はレジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
27回	<p><b>学習内容</b> 卒業論文作成に向けてⅠ</p> <p><b>予習</b> 卒論のテーマについて、レジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
28回	<p><b>学習内容</b> 卒業論文作成に向けてⅡ</p> <p><b>予習</b> 調査地・調査項目について、レジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
29回	<p><b>学習内容</b> 卒業論文作成に向けてⅢ</p> <p><b>予習</b> 使用する統計データについて、レジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>
30回	<p><b>学習内容</b> 卒業論文作成に向けてⅣ</p> <p><b>予習</b> 参考文献について、レジュメを作成すること</p> <p><b>復習</b> 討論を振り返り、課題を整理すること</p>